

土壌ガス調査

環境大臣認定の指定調査機関による信頼性の高い調査をご提供致します

○概要

揮発性有機化合物による土壌汚染を確認する場合、まず土壌ガスを採取し、その中の特定有害物質の量を測定します。指定調査機関のミヤマでは経験豊富な土壌汚染調査技術管理者が調査立案から、分析・結果報告までを担当するとともに、その業務状況を他の技術管理者がチェックする体制を構築することにより、信頼性の高い調査をご提供します。

○対象となる調査（一例）

- ・ 土壌汚染対策法に基づく調査
- ・ 現状の土壌汚染概況を把握するための自主的な調査
- ・ 土壌ガスの検出範囲を特定するための詳細調査

○特長

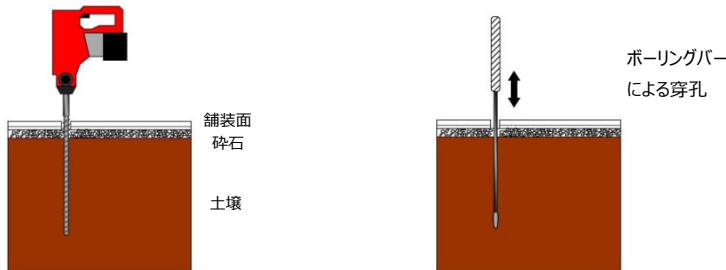
- ・ 土壌汚染調査技術管理者の管理監督による適切な調査
- ・ 無駄のない浄化対策を見据えた汚染状況を的確に把握するための調査（浄化対策も対応）
- ・ 調査全般、分析、廃棄物処理まで自社で一貫して対応
- ・ 機密性が高く迅速な調査
- ・ 現場分析が可能な場合は調査翌日には結果速報をお知らせ
- ・ 土壌ガス検出後のボーリング調査も対応可能

○調査実績

年度	法定調査	自主調査
令和元年	9件	36件
令和2年	13件	25件
令和3年	18件	19件

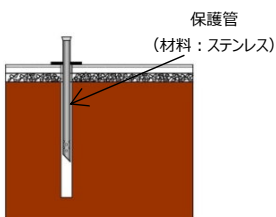
○試料採取方法

1. 試料採取孔穿孔

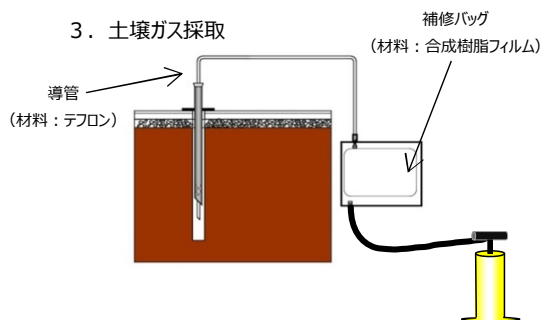


試料採取孔穿孔

2. 保護管の設置（30分放置）

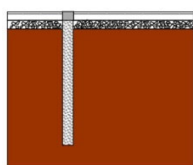


3. 土壌ガス採取

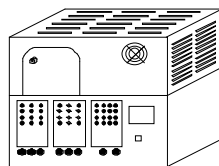


試料採取

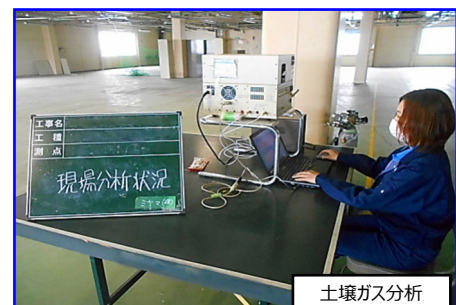
4. 廃孔・補修



5. 土壌ガス分析(GC-PID/DELCD※)



※対象物質に合わせて測定方法を選定



土壌ガス分析